

3類型	鈷工業品	通巻番号	5-30-001
地域資源名	ごまどうふ	認定日	平成30年10月12日
地域	福井県永平寺町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 手作りの食感・風味を再現する冷凍および常温長期日持ちごまどうふの開発・販売

会社名: 有限会社幸伸食品(5210002009443)
 連絡先: TEL: 0776-63-4370
 FAX: 0776-63-2000

所在地: 福井県大野市明倫町9番17号
 H P: <https://www.koshinfoods.co.jp/>

事業概要(地域産業資源の活用)

永平寺の精進料理を代表する食材「ごまどうふ」のトップシェアを誇る当社の強みは、独自の製造ラインにより手作り同様の食感・風味を再現できることにある。本事業では、現在「冷蔵」商品として醸し出している食感・風味を「冷凍」あるいは「常温長期日持ち」でも同等水準にできる開発を行い、「冷凍」は業務用高級和食素材として、「常温」は永平寺観光の代表のお土産品として販売する。



【当社ごまどうふ】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

インバウンド急増等により、高級日本料理店や一流ホテルでの和食の需要は拡大している。これらの業界では人手不足も相まって「手作りの味わい」かつ「手間を削減できる」上質な加工食材に対するニーズは強まっており、それらを兼ね備え、ロス削減効果もある冷凍ごまどうふの市場性は高い。

また、お土産には常温で日持ちがすることが求められており、手作りの味を再現するごまどうふは再整備が進む永平寺を代表する土産になり得る。

◆需要の開拓の方針

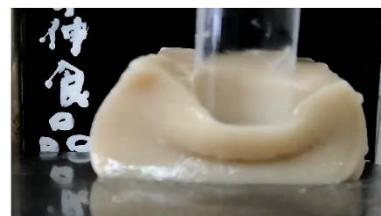
冷凍ごまどうふは首都圏や関西圏の高級和食店、一流ホテルの他、クルーズ船や高級介護施設などの販路に対し順次営業活動を展開。同時に商談会などを通じて海外日本料理店に販路を持つ商社等の販路を開拓する。土産用常温ごまどうふは既存冷蔵商品の販路や直営店を活用する。

◆商品の特性

他の市販ごまどうふに比べて圧倒的に柔らかくもちもち感があるとところが当社ごまどうふの特長であり、それを「冷凍」「常温長期日持ち」でも実現できることでさらに競争力が高まる。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

東京五輪、新幹線延伸といったイベントが控える中で、永平寺町が進める「SHOJIN」ブランド事業の旗手となり、同商工会や地域企業と相乗効果を発揮しながらブランド確立を進めていく。



【ごまどうふ咀嚼試験: 当社製】



【ごまどうふ咀嚼試験: 他社製】



【冷凍ごまどうふ】